

科目名		日本史(Japanese History)							
学年		単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第3学年	電気工学科 物質工学科 経営情報学科	履修	2単位	—	講義	通年 90分/週	60時間		
担当教員		【非常勤】立石 絵里子 (【副担当】岩元 修一)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	日本史はこの地球の成り立ちから人類の進化や技術・社会・文化の変化について、いわゆる日本を基軸にしながら総合的に学ぶ科目である。本講義では①いわゆる日本の技術・社会・文化がどのように変化してきたかについて理解し、同時に②同時代の他の国・地域との関わりを理解できるようになることを到達目標レベルとする。								
学習・教育目標	(F)	JABEE基準1(2)							
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	現代社会、倫理、世界史								
教科書	「詳説日本史B」(山川出版社)								
補助教材等	「図録詳説日本史 最新版」(山川出版社)								
達成度評価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	30	20	20					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎	○	○					
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○	○	◎					
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】	○	○	○	○					
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>           自学自習の内容は授業前日までに予習し、授業日に復習すること。            ・小テストでは授業内容に即した基本事項の確認を行う。あわせて自学自習の理解度確認として「口頭試問」を行う。            自学自習の成果の一部として「知識の基本的な理解」「態度・志向性(人間力)」としても評価する。            ・レポートは「思考・推論・創造への適用力」を評価するために長期休業を利用して実施する。            ◎教科書・図録の不携帯は減点の対象とするので、毎回、持参すること。            欠席状況は各自で授業担当教員に確認すること。            提出物は提出期限を厳守のこと。            再試は実施しないので注意すること。            * 授業中の居眠り、電子機器の使用については減点とするので、十分注意のこと。         </p>									

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	導入	授業の進め方と評価方法の説明を理解できる。過去を振り返る前提ともなる現代の課題を理解できる。	
2	占領下の日本(1)	日本占領の仕組みと初期占領の在り方を理解できる。	予習として教科書の369～379ページ1行目を読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
3	占領下の日本(2)	占領政策の転換の背景と独立の背景を理解できる。	予習として教科書の379～385ページを読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
4	独立後の日本(1)	独立後から70年代までの日本の動きを理解できる。	予習として教科書の386～401ページを読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
5	独立後の日本(2)	経済の面から戦後の日本を理解できる。	予習として教科書379欄外①・381・392～6・402～9ページを読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
6	幕末の日本	幕末の開国と通商開始の影響を経済面から理解できる。	予習として教科書の250～4ページを読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
7	明治の産業革命	日本の産業革命とその国民生活への影響について理解できる。	予習として教科書267～9・279・280・299～308ページを読み図録とあわせ概要を把握しておく。
8	中間試験		
9	・答案返却、解答解説。 ・近代日本の推移	・試験問題の解説を通して間違った箇所について従来の理解を修正できる。 ・幕末以降の領土拡大とその背景を理解できる。	予習として教科書272～4・291・296・326・347ページを読み図録とあわせ概要を把握しておく。
10	憲法の成立	明治憲法の内容と成立の過程を理解できる。	予習として教科書278・282～6ページを読み図録とあわせ概要を把握しておく。
11	朝鮮半島との関わり	日清戦争の前提となる朝鮮半島と日本の関わりを理解できる。	予習として教科書273～4・288～9ページを読み図録とあわせ概要を把握しておく。
12	日清戦争	日清戦争の背景、経過、結果を理解できる。	予習として教科書の290～1ページを読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
13	日露戦争	日露戦争の背景、経過、結果を理解できる。	予習として教科書の293～8ページを読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
14	第一次世界大戦と日本	日本が第一次世界大戦でどのような行動をとったか、理解できる。	予習として教科書320～5ページを読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
	日本経済の動向	経済の面から第一次世界大戦の開始前・戦中・戦後の日本を理解できる。	予習として教科書322～3・339～40・343～4ページを読み図録とあわせ概要を把握する。
15	・答案返却、解答解説。 ・レポートの説明。	・試験問題の解説を通して間違った箇所について従来の理解を修正できる。 ・夏季課題について理解できる。	

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	政党政治の発展	大正デモクラシーと政党内閣を理解できる。	予習として教科書の332～3ページ15行目を読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
17	中国問題と軍部の台頭	1920年代の日本と中国の関係を理解できる。	予習として教科書の340～5ページ3行目を読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
18	満州事変	満州事変の背景、経過、結果を理解できる。	予習として教科書の345～7ページ14行目を読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
19	日中戦争	日中戦争の背景、経過、結果を理解できる。	予習として教科書の349～354ページ11行目を読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
20	太平洋戦争(1)	日米対立の背景を理解できる。	予習として教科書の358～60ページ13行目を読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
21	太平洋戦争(2)	開戦を決定するまでの経過を理解できる。	予習として教科書の360～2ページ8行目を読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
22	太平洋戦争(3)	戦争の経過を理解できる。	予習として教科書の362～8ページ14行目を読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
23	中間試験		
24	・答案返却、解答解説。 ・旧石器時代の日本	・試験問題の解説を通して間違った箇所について従来の理解を修正できる。 ・列島上の祖先について理解できる。	予習として教科書の8～10ページを読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
25	縄文時代	縄文時代の信仰・生活・環境を理解できる。	予習として教科書の11～15ページ8行目を読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
26	弥生時代	弥生時代の信仰・生活・環境を理解できる。	予習として教科書の15～22ページを読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
27	古墳時代	古墳の役割・成立の背景を理解できる。	予習として教科書の23～347ページ14行目を読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
28	古代の日本と宗教(1)	古代日本の神について理解できる。	予習として教科書30～1ページ10行目・55・66・73ページを読み図録とあわせ概要を把握する。
29	古代の日本と宗教(2)	古代日本の仏について理解できる。	予習として教科書の28・36・37・40・41・50・56～60・64～67・73～8・93～5ページを読み、図録とあわせ概要を把握しておく。
	古代の日本と宗教(3)	飛鳥時代から平安時代の仏像を理解できる。	
30	・答案返却、解答解説。 ・授業改善アンケートの実施。	・試験問題の解説を通して間違った箇所について従来の理解を修正できる。	
総授業時間数			60時間